

第63回北海道高等学校登山選手権大会 審査員講評

1 体力

男子

- ・全体的によく歩いていた。

<1日目>

- ・サブザック行動1チーム
- ・行動離脱2チーム（パノラマ峠で下山）、隊離脱3チーム（チセヌプリの登りで遅れた）。
- ・チーム行動では1チームが規定時間の180分を4分オーバーしたため、減点した。
- ・他のチームはすべて規定時間以内であった。

<2日目>

- ・パーティ離脱1チーム
- ・チーム行動は、すべて規定時間以内だった。

女子

- ・全体的によく歩いていた。

<1日目>

- ・離脱したチーム無し。
- ・チーム行動では、すべてのチームが規定時間以内でチェックポイントを通過した。

<2日目>

- ・チーム行動では1チームが規定時間の210分を5分オーバーしたため、減点した。
- ・隊離脱2チーム。

2 歩行

- ・基本的に下りの歩行で審査した。
- ・しっかり歩いているチームが多かったが、スリップや尻もちなどで減点があった。
- ・今大会は滑りやすい石などが多くあった。今後も経験を積んで歩行技術を向上させて欲しい。

3 装備

- ・雨具、防寒具、携帯トイレ、ヘッドランプ、計画書、真水、ツェルト、ペンチ、テーピング、体温計、カットバン、消毒薬をチェックした。
- ・ヘッドランプは絶縁などの処理をすること。
- ・帽子をかぶっていない。または、手に持って行動しているチームがあった。
- ・スパッツのひもが無いチームがあった。

4 設営・撤収

- ・予備の張り綱、補修用ポールも装備しておくこと。
- ・登山行動出発後の、テントの中の整理整頓が出来ていないチームが複数あった。

5 炊事

- ・ガスヘッド（バーナー）のすぐ近くにライターを置いているチームがあった。火気には注意すること。
- ・計画書と調理している内容が一致していないチームがあった。
- ・地面に直接食材を置かない。衛生シートをきちんと使用すること。

6 気象

- ・台風がある天気図だった。それほど難易度は高くないのに全体的に出来が悪かった。
- ・web ページで審査項目も公開しているので参考にすること。

7 計画・記録

- ・計画書の共同装備表に、4人の分担が書かれていないチームがあった。
- ・予備食、非常食が書かれていない。また、予備食と非常食の意味を理解していないチームがあった。
- ・計画書は学校出発から学校に到着するまでを書くこと。
- ・計画書と記録書については、学校ごとに減点した項目を伝えた。今後の参考にして欲しい。
- ・記録書について、展望の無いときは、「展望無し」の記録をすること。

8 行動中テスト

- ・男子も女子も出来る限り多く出題した。
- ・出来るチームとそうでないチームの差が大きかった。大会の山域についてよく勉強して欲しい。

9 ペーパーテスト

- ・今回の大会から、コース概況を公開した。今後も公開する予定なので、もっと勉強して欲しい。
- ・web ページで問題と解答を公開しているので参考にすること。

10 パーティシップ、マナー

- ・校名表記、ゼッケンがきちんと見えないチームがあった。しっかり固定すること。
- ・登山行動の朝に遅刻したチームが複数あった。時間を見ながら行動すること。
- ・審査結果について、審査員を侮辱するような言動があったため減点した。

審査項目には、それぞれの意味（理由）があります。そのことを良く理解して、登山技術の向上を目指して、特に安全登山の技術が向上するように、各学校で取り組んでください。

1日目は雨が降る中での全装行動（男子）で、厳しい登山となりました。2日目は少しガスが出ましたが、羊蹄山からの素晴らしい景色を楽しめたと思います。3年生は引退する生徒が多いと思いますが、またいつか山でお会いしましょう。最後に、当番学校の小樽潮陵高校の皆様にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

（文責 審査委員長 小池圭太）